

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【公開番号】特開2017-5642(P2017-5642A)

【公開日】平成29年1月5日(2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-001

【出願番号】特願2015-120750(P2015-120750)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/439 (2011.01)

H 0 4 N 5/00 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 21/439

H 0 4 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月12日(2018.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放送伝送路および通信伝送路を介して伝送される放送番組のコンポーネントを含む I P データフローを受信可能な放送受信装置で実行する一時蓄積の制御方法であって、

前記放送伝送路では、前記 I P データフローが T L V ストリームに格納されて伝送され、該放送伝送路の T L V ストリームは前記放送受信装置のチューナで受信されるものであり、

前記通信伝送路では、前記 I P データフローが、前記放送受信装置における前記チューナとは異なる通信部で受信されるものであり、

前記放送番組を構成するコンポーネントを示す M P T と、前記放送伝送路および前記通信伝送路により伝送されるコンポーネントと、前記コンポーネントのデコードに用いる現在時刻であって協定世界時刻を示す第 1 の時刻情報と、前記第 1 の時刻情報とは異なる時刻情報であって 16 ビットの数値データである日付データを含み現在時刻を示す第 2 の時刻情報と、を受信する受信ステップと、

前記受信ステップで受信した前記放送番組を一時蓄積する一時蓄積ステップと、を有し、

前記一時蓄積ステップで一時蓄積される前記放送番組のコンポーネントは、M P U 単位で前記第 1 の時刻情報のフォーマットと同一のフォーマットの時刻情報を含むタイムスタンプと対応づけられているものであり、

前記放送番組の一時蓄積に用いられる時刻管理処理は、前記第 2 の時刻情報を用いる時刻管理処理であり、前記時刻管理処理においては、所定の日付を用いた判定処理に応じて、前記第 2 の時刻情報の日付データの値に 10 進法表記での 6 5 5 3 6 の値を加算する処理を行うか否かを切り替える、一時蓄積の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】一時蓄積の制御方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】